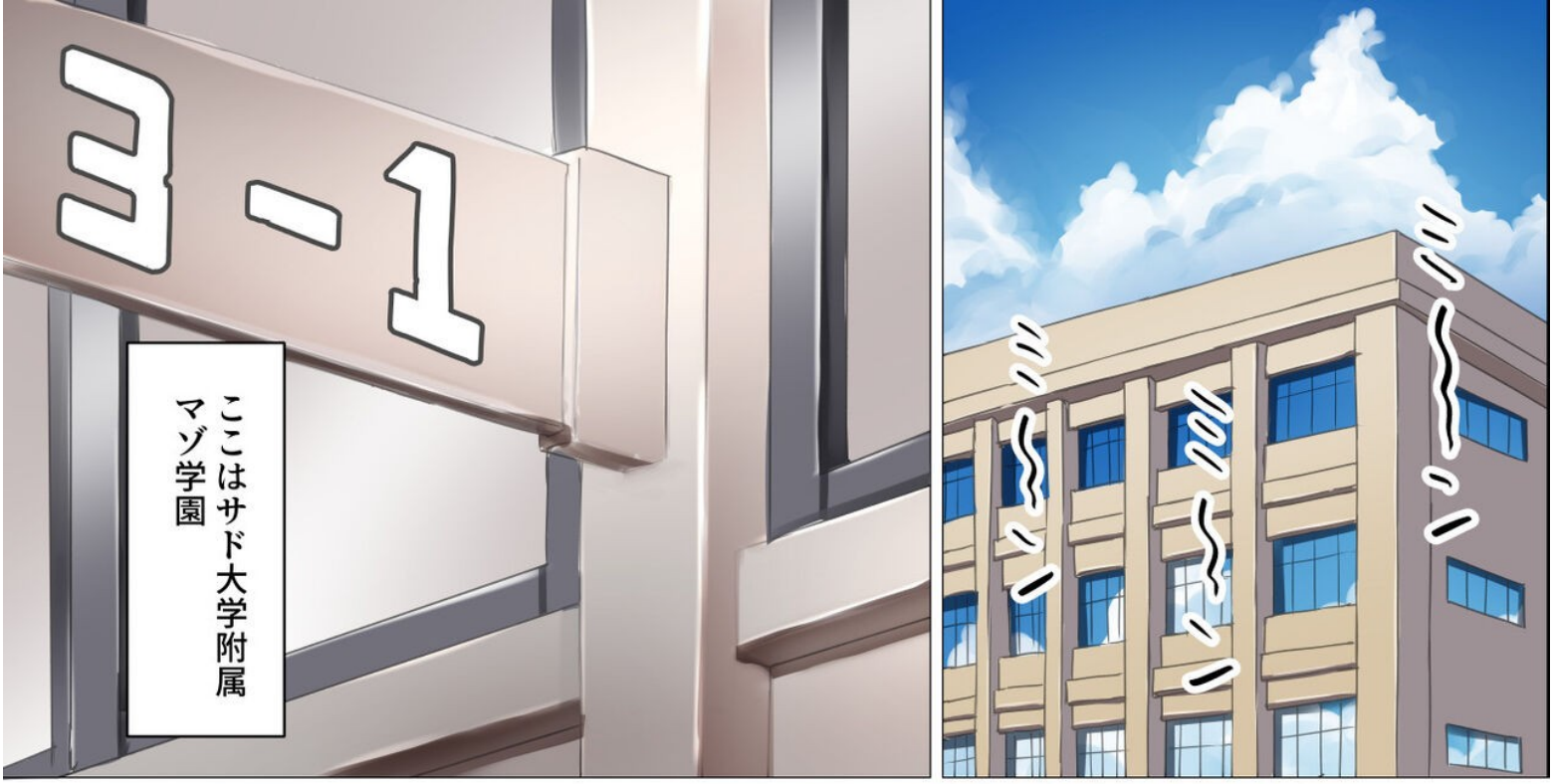
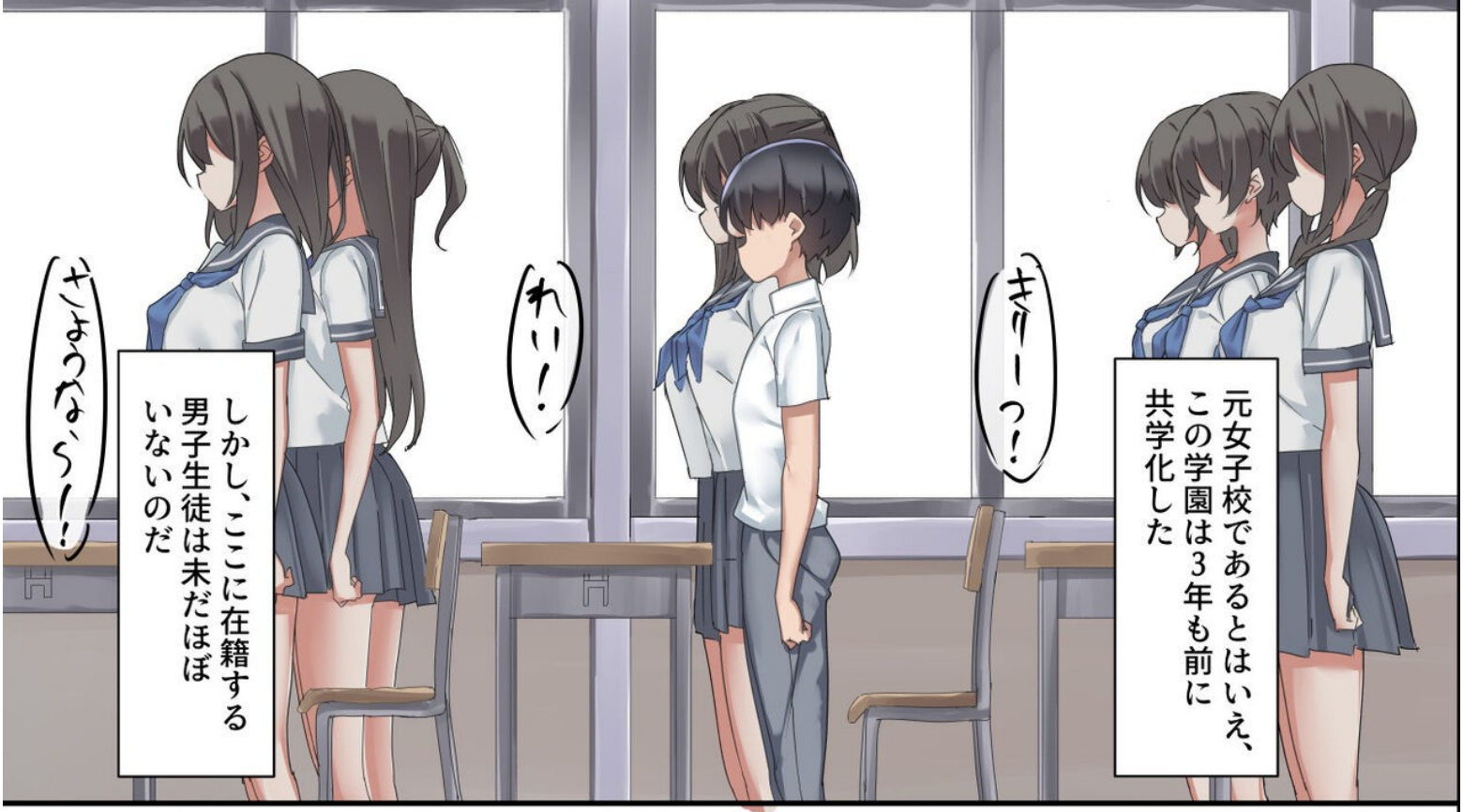
後輩ドSチアリーダーにドM調教された男の話。
葉隠くらげ


3-1
ここはサド大学附属
マゾ学園
ミーンミーンミーン

3年前まで女子校だったこの学園には
2つの大きな問題がある。
キーンコーンカーンコーン
一つ目は、深刻な男子生徒不足である。


元女子校であるとはいえ、
この学園は3年も前に
共学化した
きりーつ！
れい！
しかし、ここに在籍する
男子生徒は未だほぼ
いないのだ
さようなら！

……というか、
俺しかいない

これだけでも
大変深刻な
事態なのだが、
さらに深刻なのが
2つめの問題だ。
それは……

ドンッ
痛てっ!!

おい、お前！
コイツの存在だ
すくすっ
あっれー、
先輩いたんだーｗｗ
小さ過ぎて
気づかなかったーｗｗ
すくすっ
コイツは莉子
チアリーディング部で
センターを務めている
後輩の女子だ
身長が高くてスタイルも良く、
顔も整っているうえに勉強も
運動もできる
そして、後輩のくせに俺を
バカにして見下してくる
全く、イヤな女だ

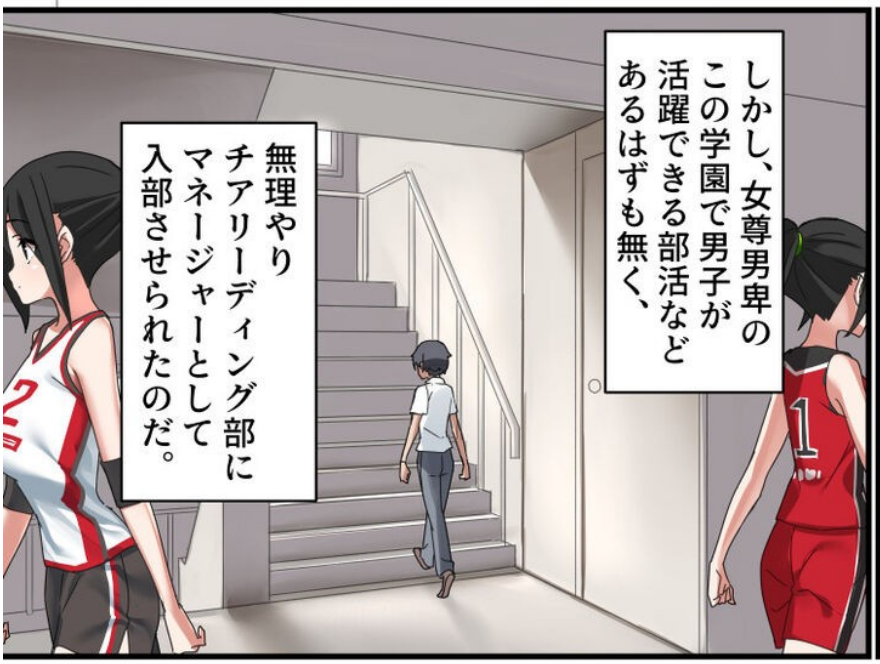
お前わざとぶつかっただろ！
あはっ、わざとじゃないんですけどー
嘘つけ！
ていうか先輩がちっさ過ぎるのが悪いんじゃんｗｗ
こ、コイツ……!!

あ、そうそう。
今日も部室の掃除やっておいてね。
んなっ!?

それじゃあよろしくねー
こんのぉ！
いつか絶対見返してやるからな！

ミーン
ミーン
くそ、なんで俺が
掃除なんか……。
ミーン
すっ
すっ
ミーン

部室棟
この学園は部活に
入ることが
義務付けられている。


しかし、女尊男卑の
この学園で男子が
活躍できる部活など
あるはずも無く、
無理やり
チアリーディング部に
マネージャーとして
入部させられたのだ。

マネージャーとはいっても
仕事内容は雑用ばかり。
ここはいつも静かだな……

ここ最近は毎日のように
部室の掃除を
させられている。

チアリーディング部
はぁ、掃除するか……
ん？
ドアが開いている……？
誰かいるのか？
!?
思えば、これが全ての始まりだった……
この事件がきっかけで、まさかあのような結末を迎えることになるとは、この時の俺は知る由もなかった……

うおっ！
着替え中?!
ぷるん
エッッッ!!
ぷるん
ドキッ
ドキッ
ドキッ
こ、これは
写真に残したい……っ！
今まで散々虐げられて来たんだ……
ドキッ
ドキッ
ドキッ
俺だって少しくらい良い思いをしてもいいはず
パシャッ
パシャッ
少しだけ……
ギーッ
ギーッ
少しだけなら……

なーにやってんの、先輩
パシャ
ビクッ
びっ!!

くすくすっ♥
忘れ物取りに戻ってきたらすごいの撮れちゃった♥
バ、バレた……っ
よりによって莉子に！

と、とにかく誤魔化さないと!!
ち、違う!!
これはその、何かの
間違いで……!!
いいよ、今回は
秘密にしておいてあげる
ほ、本当!?

そのかわり……
先輩に頼みたいことが
あるんだよねー
?

マ、マゾ調教!?
そ、盗撮のこと
黙っていてあげる
代わりに、
二度と変な気を
起こさないように
先輩を調教するの
コイツ、
何言って……!?
私におっぱいで
顔を押しつぶされたり、
ムチッ
足でおちんちんを
踏みつぶされたり、
先輩は私に
めちゃくちゃにされて、
最後はドMに
調教されちゃうの
あわっ
あわっ

い、意味わかんねぇ！
そんな変な
交換条件
飲めるかよ！
お、お前がそんな
変態ドS女だったって
ことは黙っておいてやる！
だから盗撮の件も
これでチャラでいいよな！
そ、それじゃ、
俺はもう帰るから……
キュン♡
キュン♡
ギュ…
ギュ…

ズルッ！
えっ!?
ちょっ!?
ぐぐっ
ぐぐっ
ほーら、暴れないの
先輩に拒否権なんか
あるわけないじゃんｗｗ
こ、こいつ
何を!?
バタッ
バタッ
ピクッ
ガッ!!
!?
観念してあたしに
調教されてよねー
ぷるん
ぷるん
……っていうか、
あのさぁ……

後輩にこんなひどいことされてなんでギンギンに勃起してんの？
これから先輩は私に滅茶苦茶にされちゃうんだよ？
なのにこれは一体どういうつもりなのかなー？
やっばーｗｗ先輩って元からドMなんじゃん
このヘンタイやろー♥
ち、ちがっ
これはっ
クソ!!なんで俺、こんなので感じて……っ?!

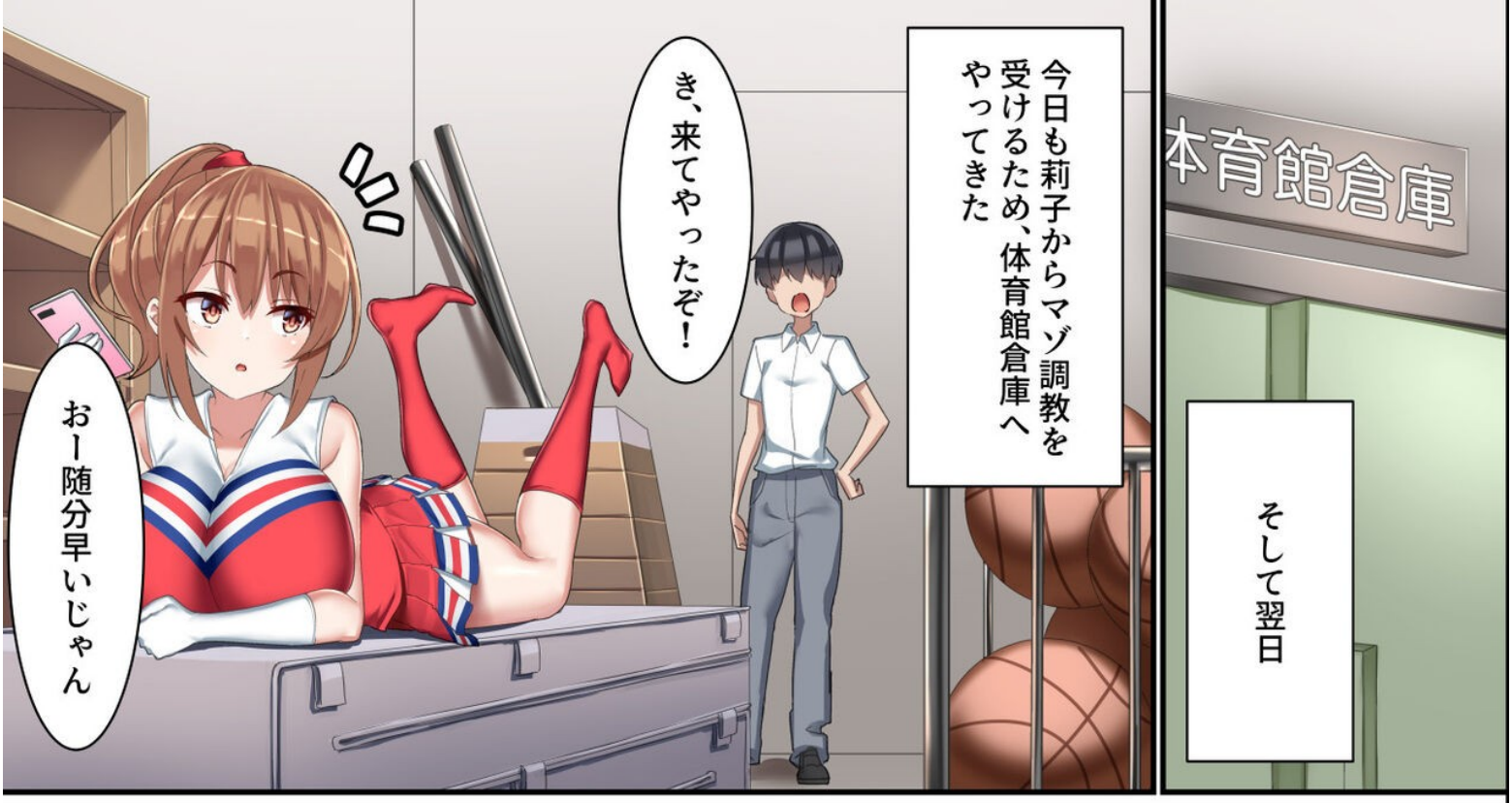
ほーら、こういうのがいいんでしょ？
あっ
ちょっ
やめろって！
くりっ
くりっ
ギュムッ
おぶっ!?
ビクッ
はいはい、逃げないの
あきらめて大人しく私に調教されようねー
はやくっ……
はやく逃げないと……!!
はぁ。
はぁ。
こしゅ。
こしゅ。
こしゅっ
ぐっ……
この
はなせっ
はなしてぇっ!!

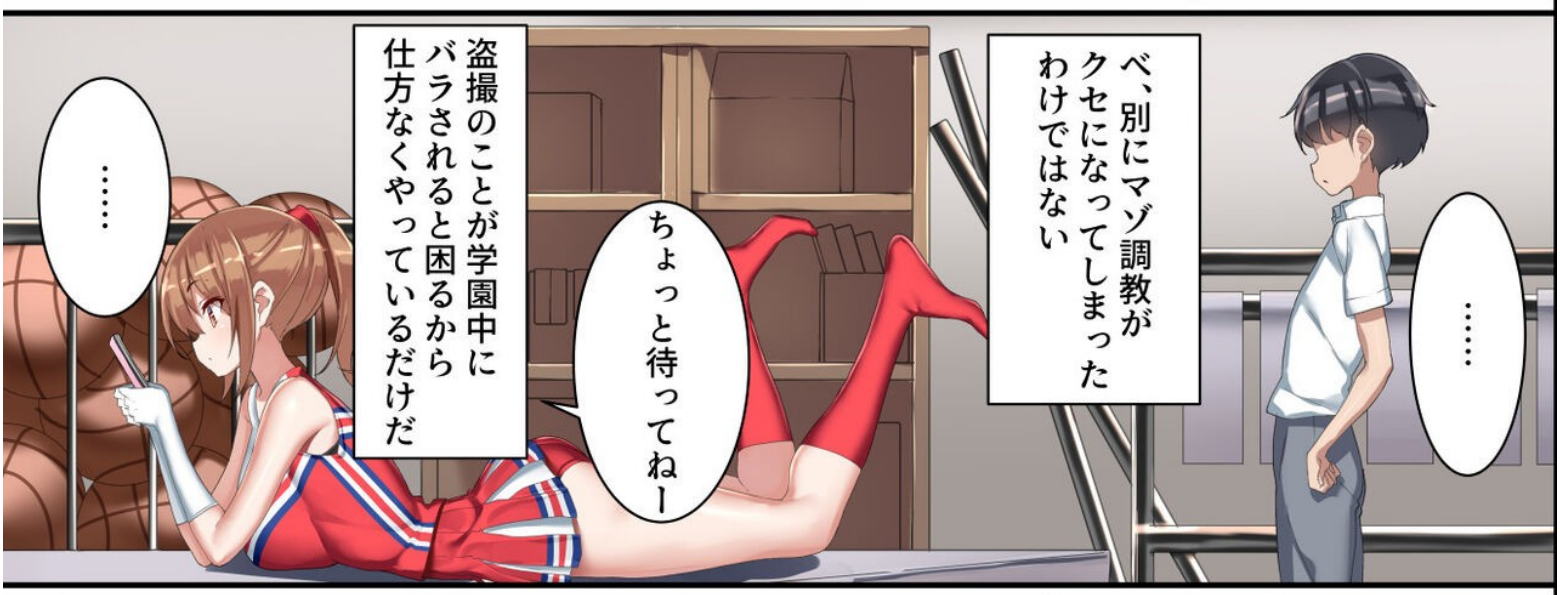
後輩のおっぱいに捕まえられて感じてるとかキモッ
ハッ♡ハッ♡
この変態マゾ野郎私の手の中でさっさとイけ
しゅこっ
しゅこっ
しゅこっ
しゅこっ
やめっ
やめろって!!
これ以上は……
あんっ♡
だめぇっ♡
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ハッ♡ハッ♡ハッ♡
おちんぽが、おちんぽが喜んじゃうのぉ!!
しゅこっ
しゅこっ
しゅこっ

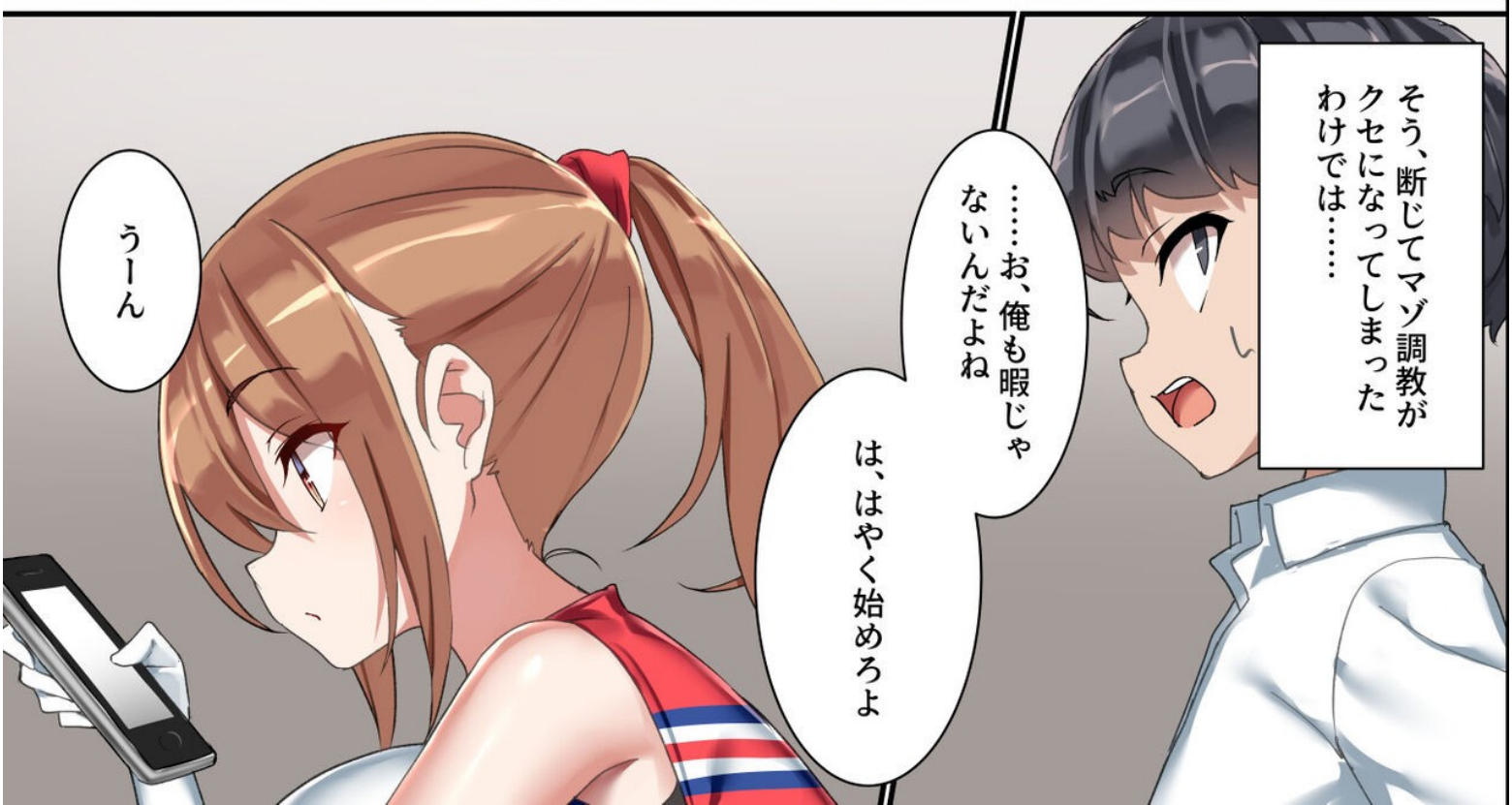
イかされる……
憎き後輩に……!!
ハアッ
ハアッ
ハアッ
ハアッ
ちゅこっ
ちゅこっ
ちゅこっ
おっ♡
ほっ♡はっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
いぐぉぉ～～～っ♡
おっほぉぉ～～～っ♡
ビュビュッ

おわった……
後輩に手だけで
イかされてしまった……
ピクッ
ピクッ
ピクッ
おっ……
おごっ……
ピュルルッ
ピュッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ

あはっ
敗北射精デビュー
おめでとーww
これからいっぱい
マゾ堕ちぴゅっぴゅ
しようねー
う～っ
う～っ
ひっ
ひっ
こうして俺のマゾ調教
生活は幕を開けた……
ねと。

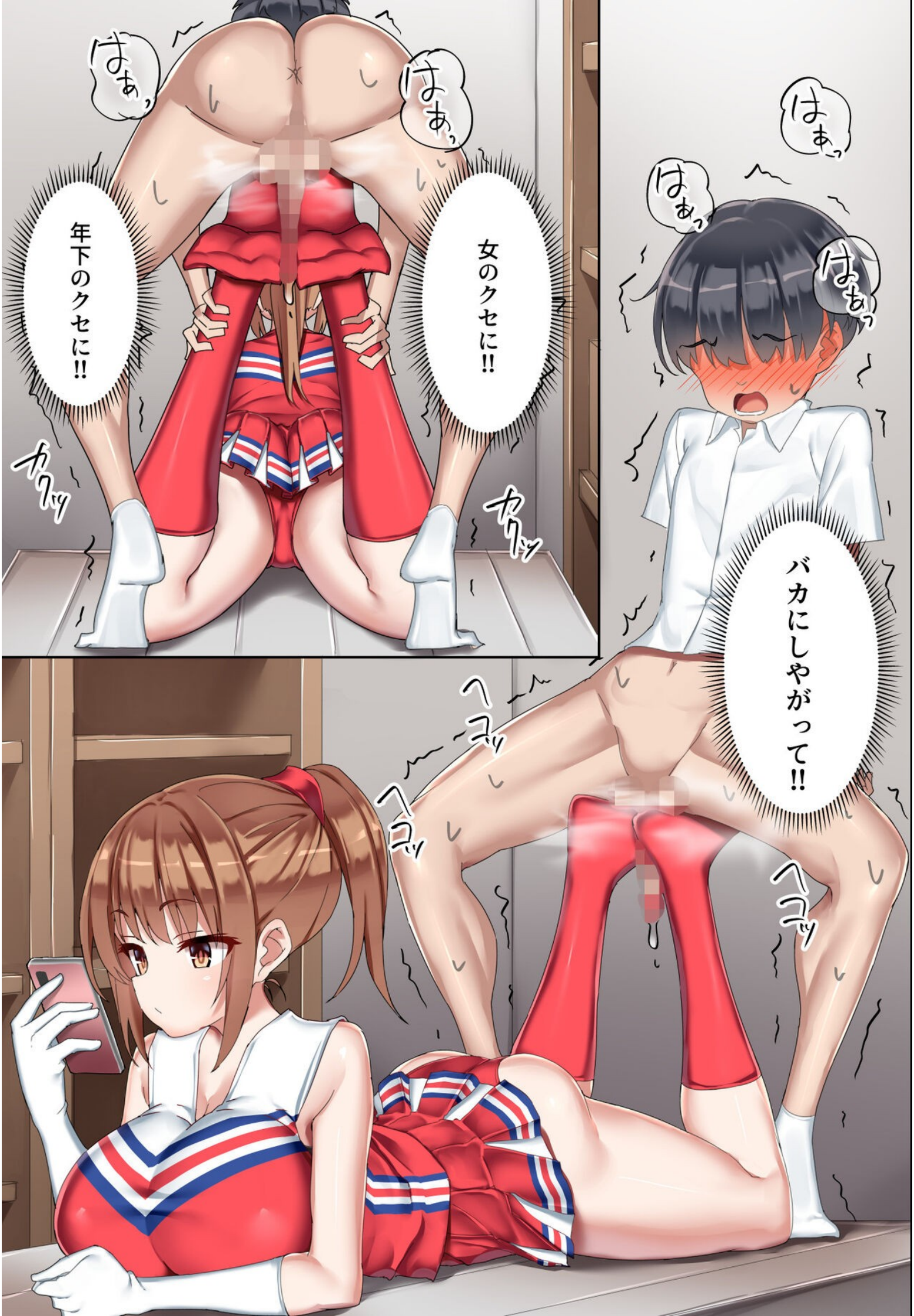

本育館倉庫
そして翌日
今日も莉子からマゾ調教を受けるため、体育館倉庫へやってきた
き、来てやったぞ！
おー随分早いじゃん

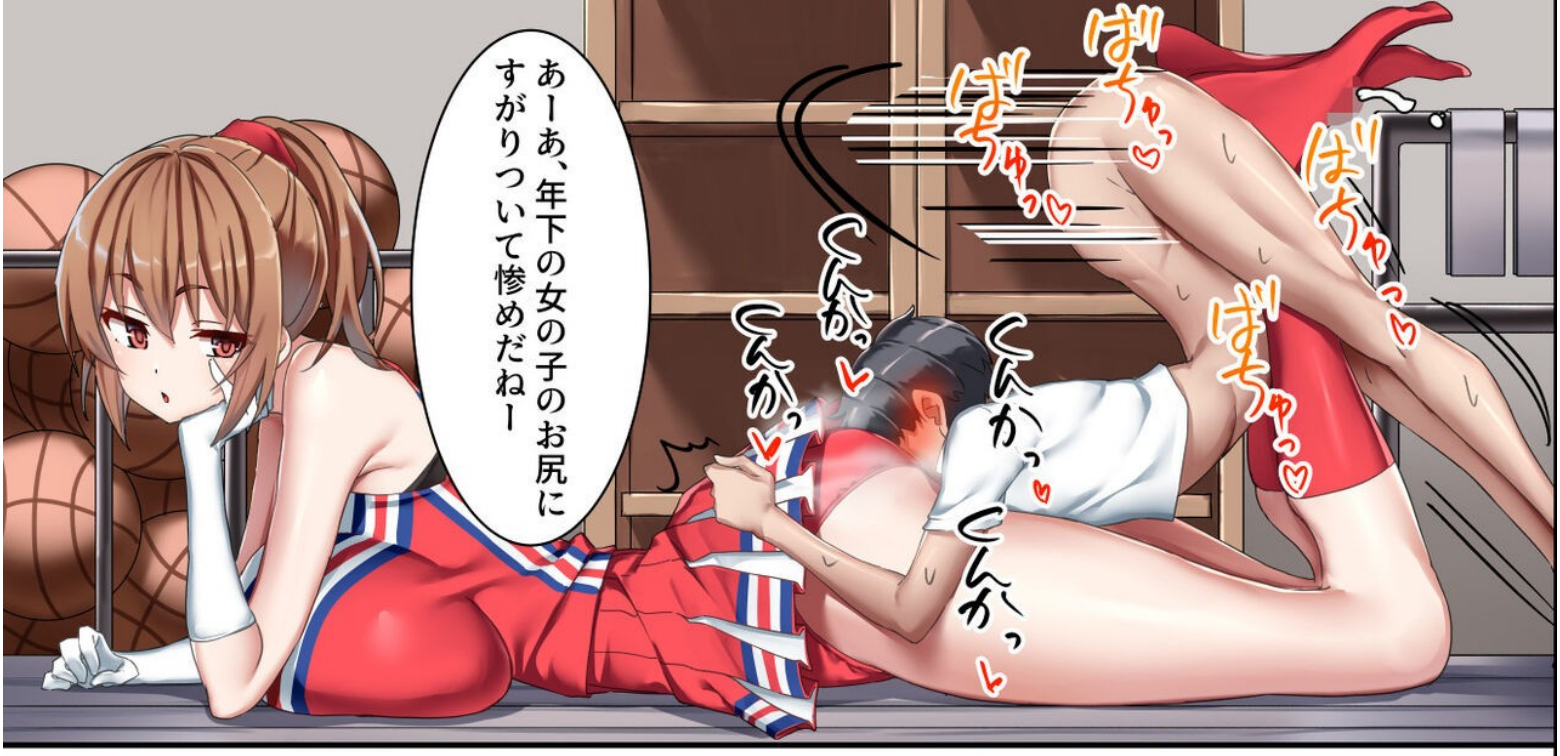

べ、別にマゾ調教がクセになってしまったわけではない
……
ちょっと待ってねー
盗撮のことが学園中にバラされると困るから仕方なくやっているだけだ
……

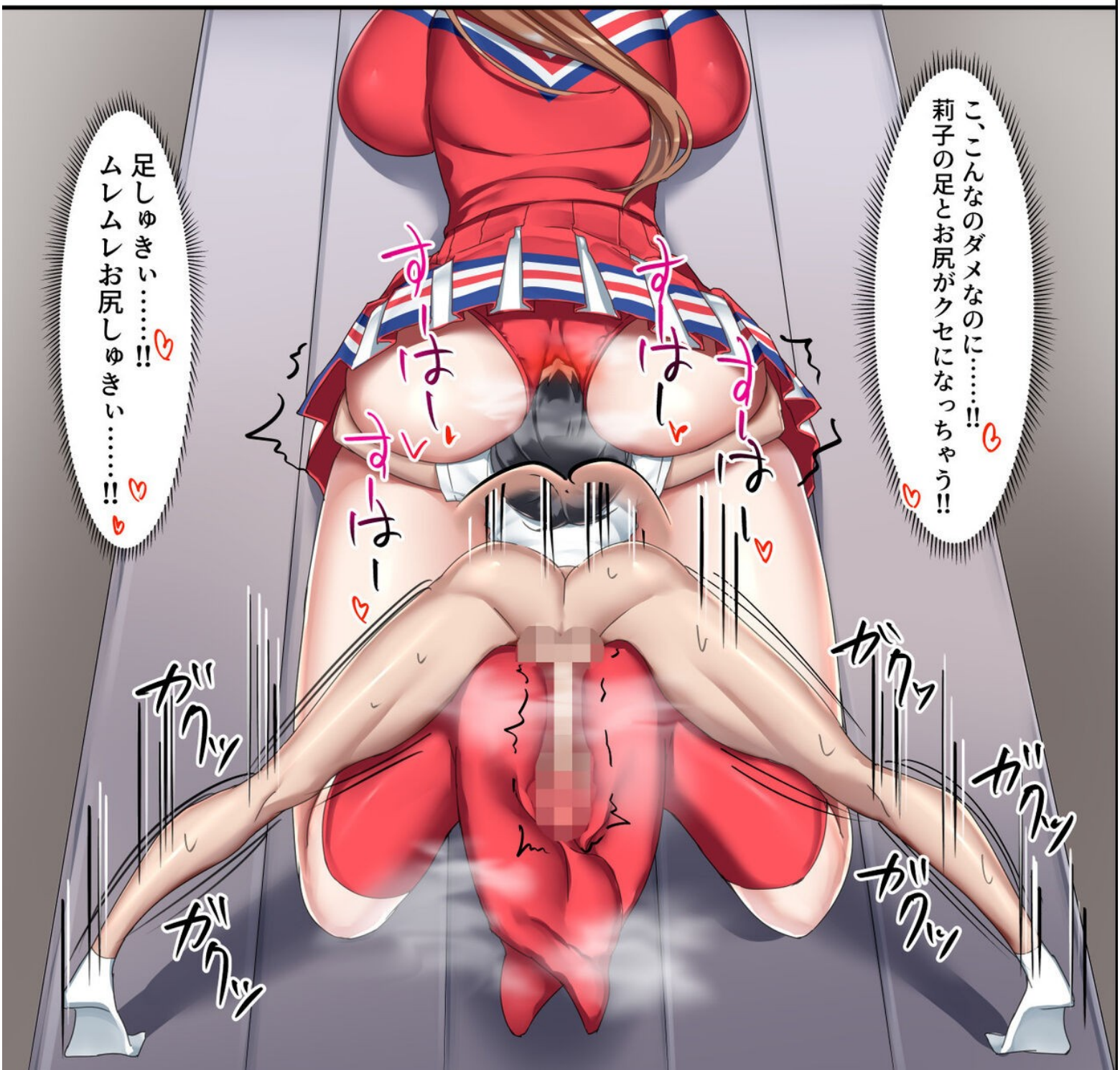

そう、断じてマゾ調教がクセになってしまったわけでは……
……お、俺も暇じゃないんだよね
は、はやく始めろよ
うーん

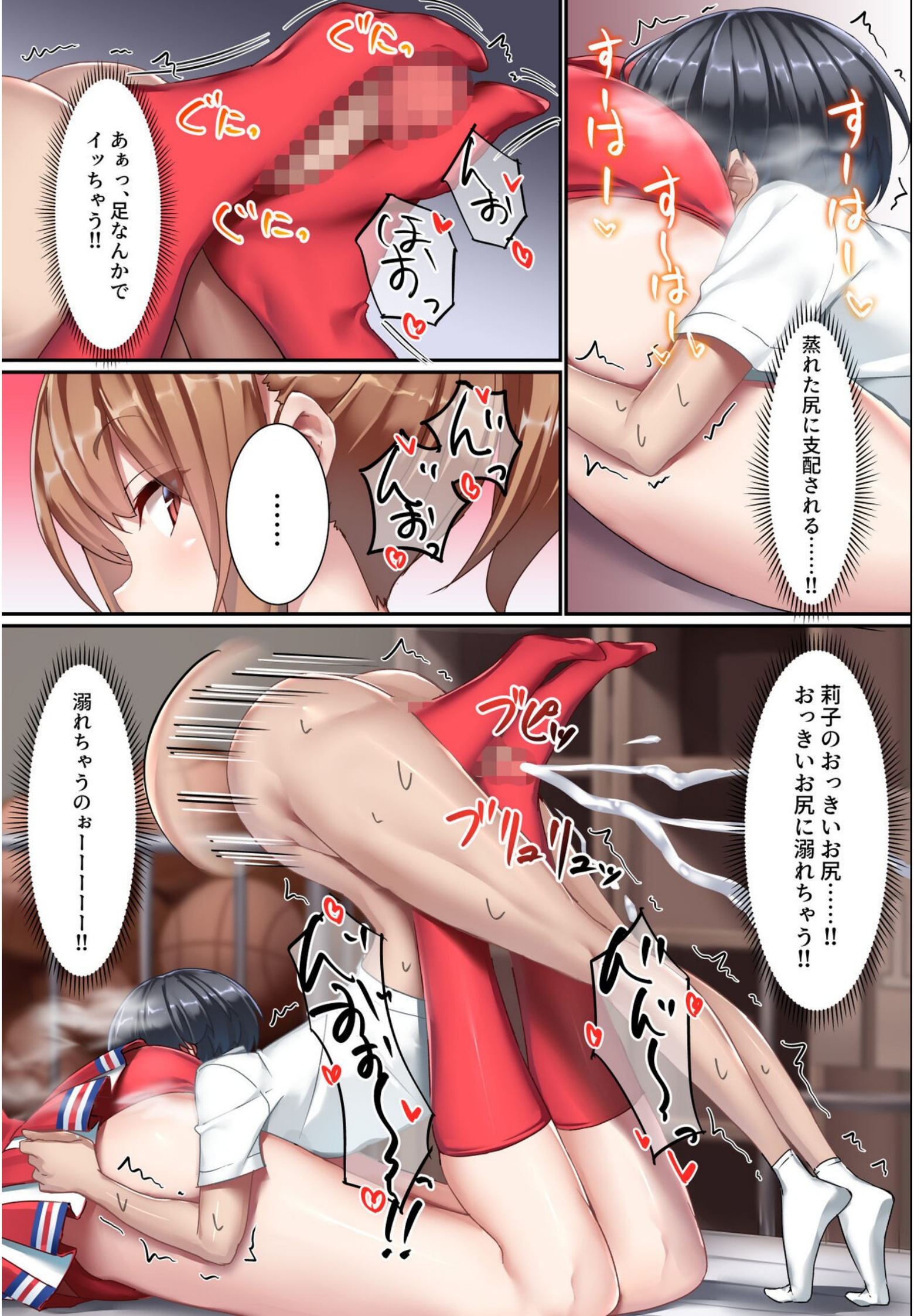
んーなんかめんどくさいから今日は無しだね
な、な!?
どうしてもイキたいんだったら
ほら、勝手に足とセックスしていれば？
もぁ……♡

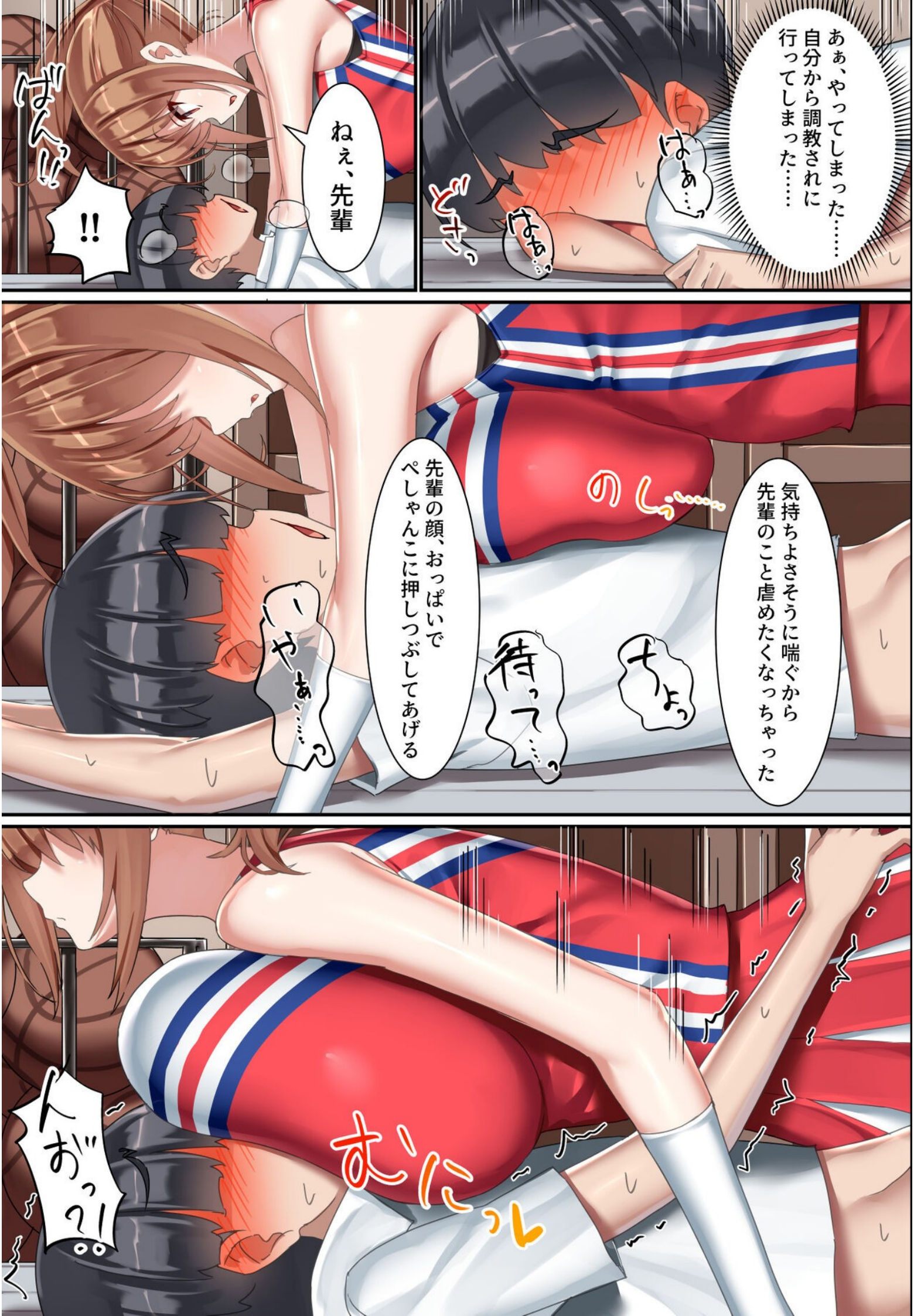
こ、この女！バカにしてっ!!
ギンッ…
ギンッ…
クソッ!!クソッ!!


はぁっ
はぁっ
はぁっ
はぁっ
女のクセに!!
年下のクセに!!
カクッ
カクッ
バカにしやがって!!
ヘコッ
ヘコッ
ヘコッ


ばちゅっ♡
ばちゅっ♡
ばちゅっ♡
ばちゅっ♡
くんかっ♡
くんかっ♡
くんかっ♡
くんかっ♡
あーあ、年下の女の子のお尻にすがりついて惨めだねー


こ、こんなのダメなのに……!!
莉子の足とお尻がクセになっちゃう!!
すはー♡
すはー♡
すはー♡
すはー♡
足しゅきぃ……!!
ムレムレお尻しゅきぃ……!!
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ


すーはー
すーはー
すーはー
蒸れた尻に支配される……!!
ぐに。
ぐに。
ぐに。
んお
ほおっ
あぁっ、足なんかでイッちゃう!!
……
んっ
んお
莉子のおっきいお尻……!!
おっきいお尻に溺れちゃう!!
ブピッ
ブリュリュッ
溺れちゃうのぉーーーー!!


あぁ、やってしまった……
自分から調教されに
行ってしまった……
はぁ…
どさっ
はぁ…
ねぇ、先輩
ばんっ!!
!!
気持ちよさそうに喘ぐから
先輩のこと虐めたくなっちゃった
のしっ……
ちょっ
待って…っ
先輩の顔、おっぱいで
ぺしゃんこに押しつぶしてあげる
いやぁ…っ
むにゅ
んおっ?!

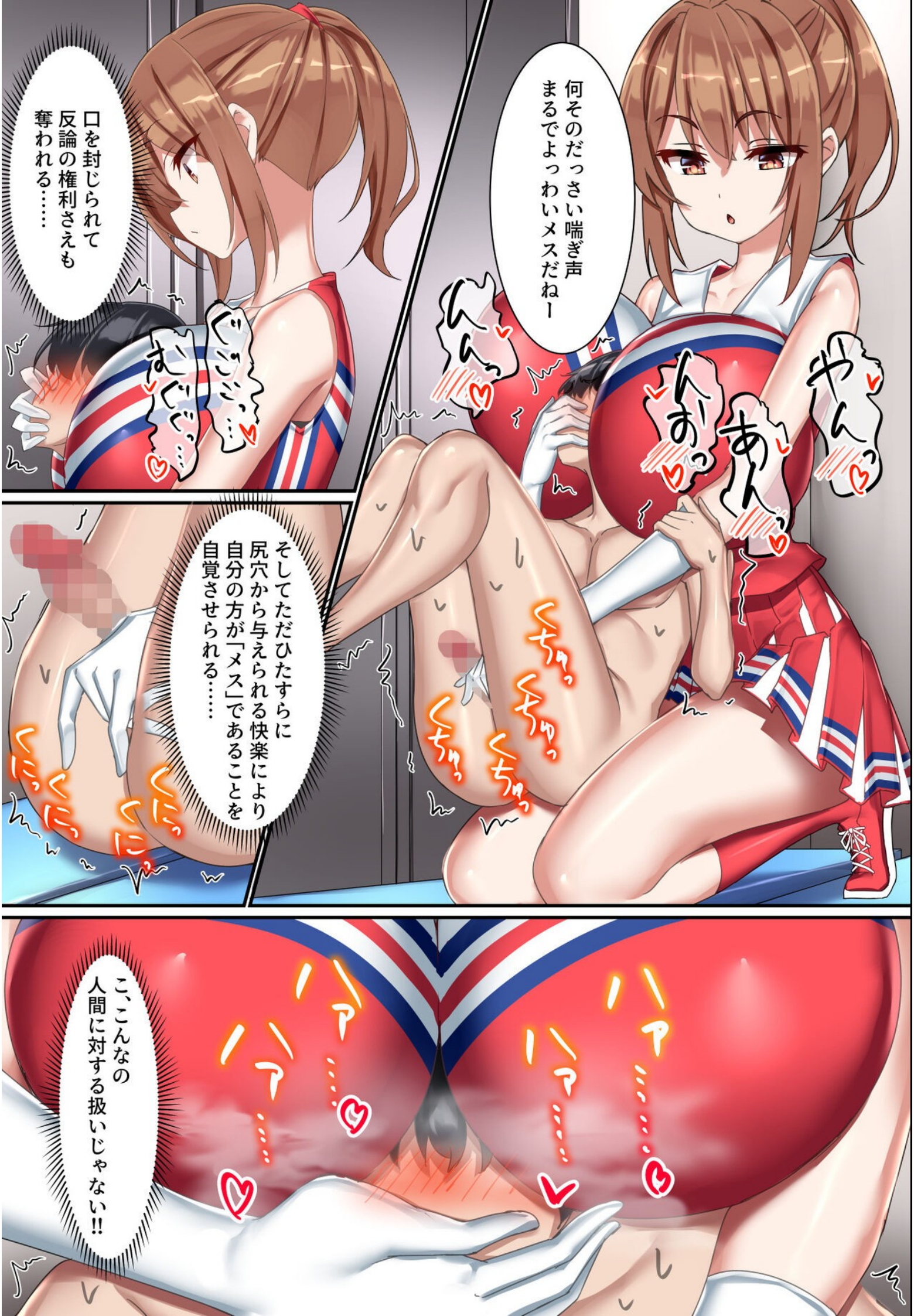
バタッ
バタッ
バタッ
バタッ
んん～～!!
?!
莉子の体に包み込まれて、
汗で蒸れた女の匂いを強制的に嗅がされる……
体のコントロールを完全に奪われて、
男の尊厳を踏みにじられる……!!
もわ～っ♡
ギチッ
ギチッ
ギチッ
こ、こんなの……、
おかしくなっちゃう……
おかしくなっちゃうのぉ～～!!
だめぇ～～!!
出してぇ～～っ!!

いやぁ
やめてぇ
ビュルルルッ
ブピュルッ

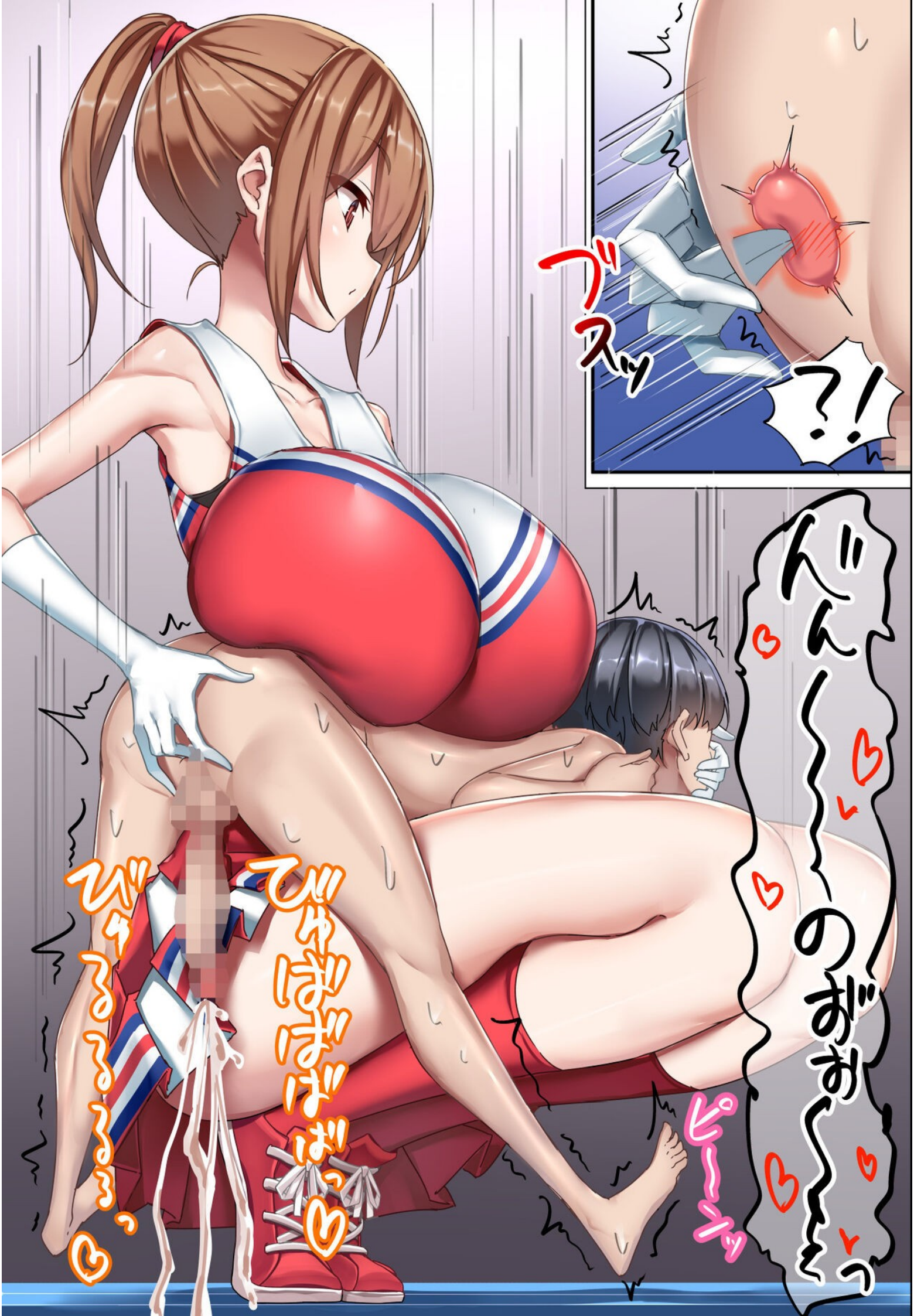
いやぁ…
いやぁ…
ぴゅる～っ
びゅる
ぷるぷるぷるぷるぷるぷる
自ら調教されに行ってしまった
この日を境に、
莉子の俺に対する態度は目に見えて
悪化していった

い、いい加減にしろよ!!
アリーディング部
いいから全部脱げって
盗撮バラされてもいいの?
こ、こいつ!!
ぴくっ
バッ
クソッ……!!
莉子のマゾ調教は
日に日に過激になり……
ほら、
これでいいだろ!!
……
ほ、ほらっ
早く始めろよ!!
ギュッ
ズボッ!!
ひゃうぅ?!

エスカレートしていく調教に
比例するように、徐々に
俺の扱いは雑になっていった……
くちゅ
くちゅ
ぐぐっ
汗で蒸れた手袋の
甘酸っぱい匂い……
くんかっ
くんかっ
くんかっ
くんかっ
乱暴に犯される尻の
倒錯した快感……
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
強引に押し付けられる
興奮と快楽に脳が
支配されていく……
すーはー
すーはー
すーはー


何そのだっさい喘ぎ声
まるでよっわいメスだねー
口を封じられて
反論の権利さえも
奪われる……
そしてただひたすらに
尻穴から与えられる快楽により
自分の方が「メス」であることを
自覚させられる……
こ、こんなの
人間に対する扱いじゃない!!

メスイキしか能のないマゾ猿にされる……!!
ぐぐぐっ
くぐっ
プピュッ
ピュルルル
ビクッ
ガクッ
ガクッ
ビクッ
ピクッ
ガクッ
壊される……!!
つ～～
つ～～
ダ～ン!!
も、もうやめ……


ブスッ
?!
ぐんーーのおおーーっ
ピーーッ
びゅばばばっ♡
びゅるるるるるっ♡

ぐにっ
ぐにっぐにっ
びゅばばっ
ぷしゅっ
ぷしゅっぷしゅっ
ぷしゅっ
たぱぱっ
ビクッ
ビクッ
執拗に尻を犯され続けて
「メス」であることを教え込まれた俺は、
もはや女の力に降伏し、ただ
屈服するしかなかった

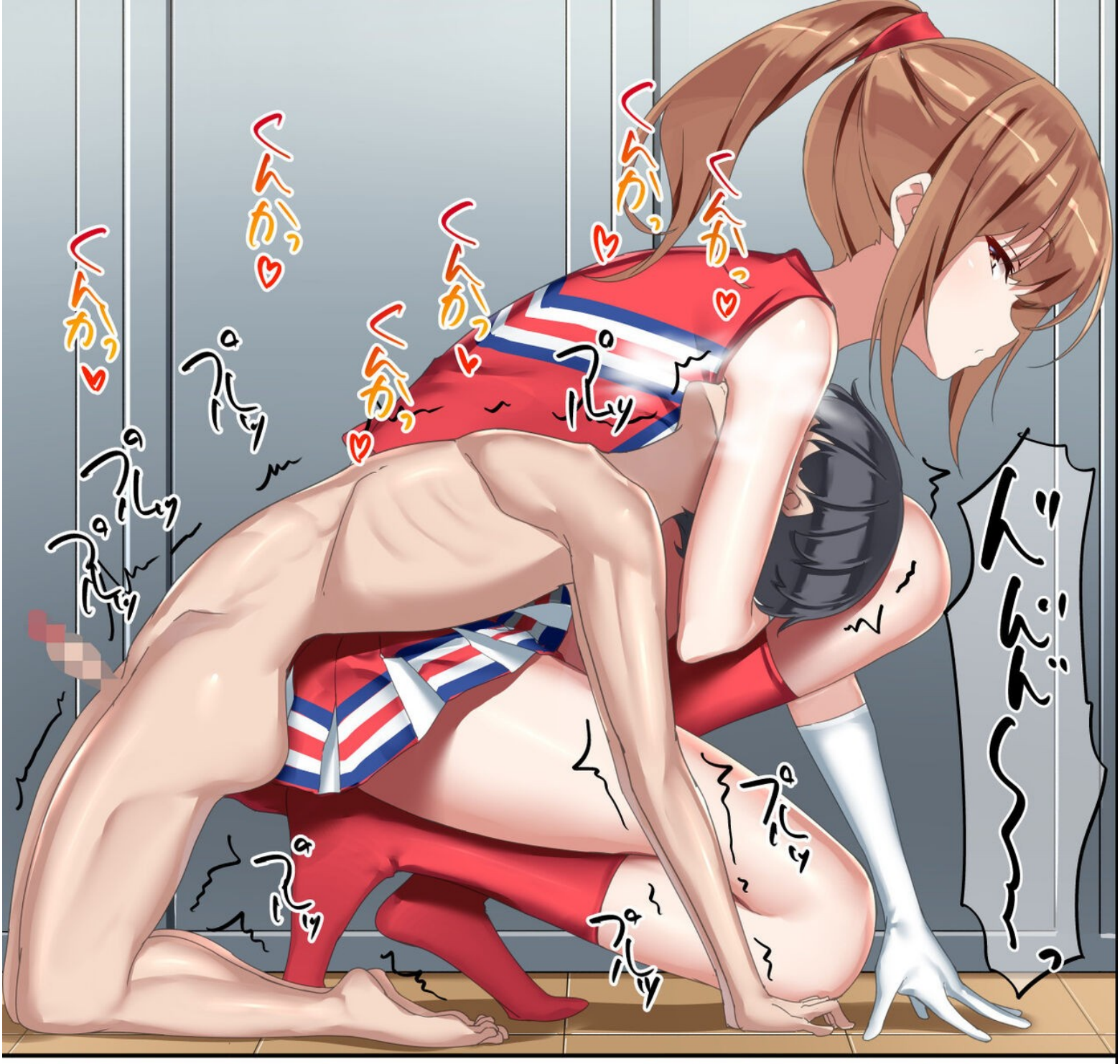
こうして度重なる苛烈な
マゾ調教を受け続けた
結果、
見事に俺は立派なドM男に
堕とされてしまっていた
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ

女子の何気ない仕草の
全てが性的なものに
感じられ
もはや女子に射精
させられることしか
考えられなく
なっていた

すくすく
あぁ、今日も女子様が
僕を蔑んだ目で見ている……
シゴかれたい……
尻穴をほじくられたい……
イかされたい……!!

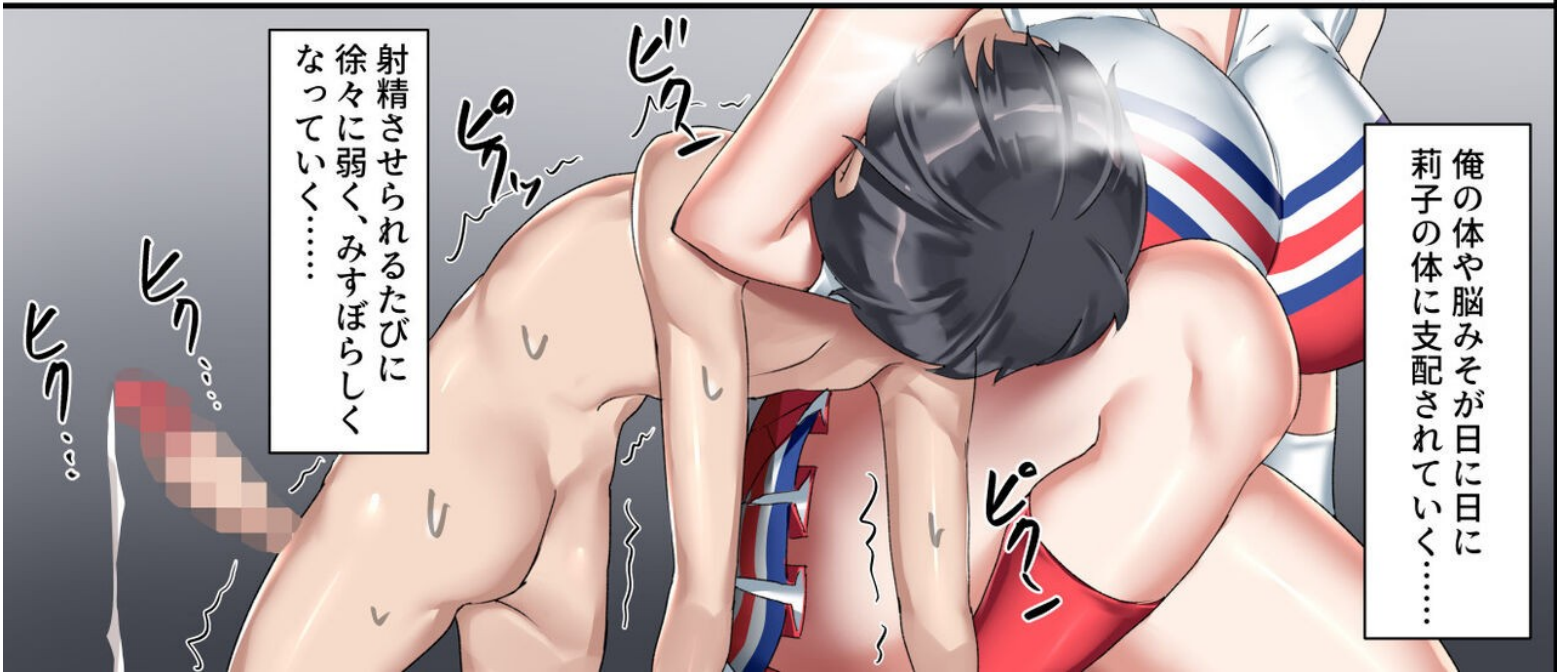
そして放課後……
ーディング部
俺は莉子にすがりついて
マゾ調教を懇願していた……
お願い!!ちょっとだけ
でもいいからっ!!
おちんぽ踏んでぇ!!
むにっ
莉子様!!もう限界なのぉ!!
おちんぽめちゃくちゃにしてぇ!!
……
僕のおちんぽを
いじめてくだしゃい……
あぁっ!莉子様の腋……!!
ムレムレのきれいな腋……!!
むわ……
腋の匂い嗅ぎたい
んずっ!
ギュ〜ッ

すはー
すはー
すはー
すはー
すはー
すはー
ほーら、
腋の匂い嗅がされて
うれしいねー
んっ
んっ
んっ
んっ
も
わぁ…
くんかっ
くんかっ
くんかっ
ビッ
ビビッ?!

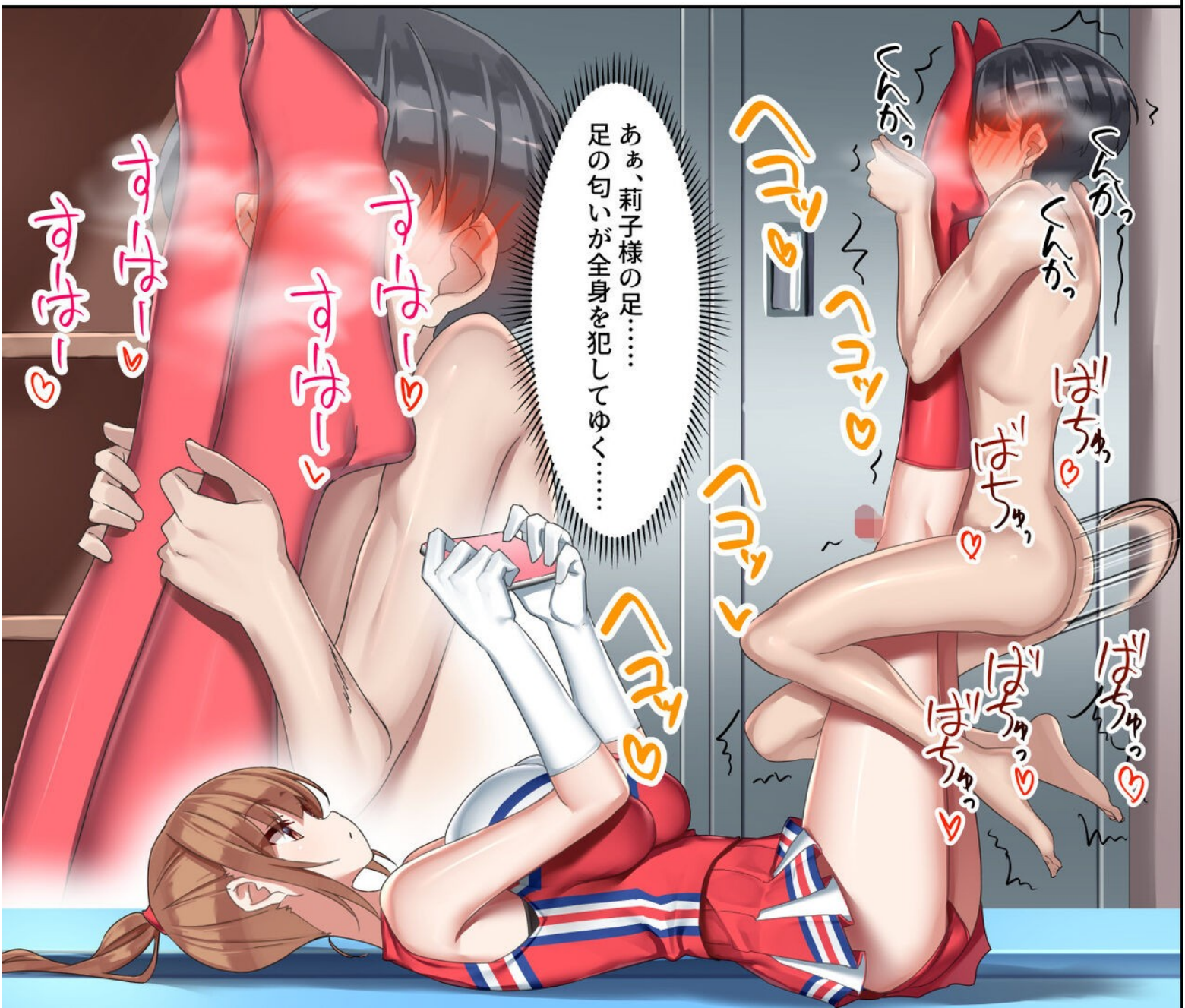

くんかっ♥
くんかっ♥
くんかっ♥
くんかっ♥
くんかっ♥
プシッ
プシッ
プシッ
プシッ
プシッ
プシッ
んんん〜〜っ

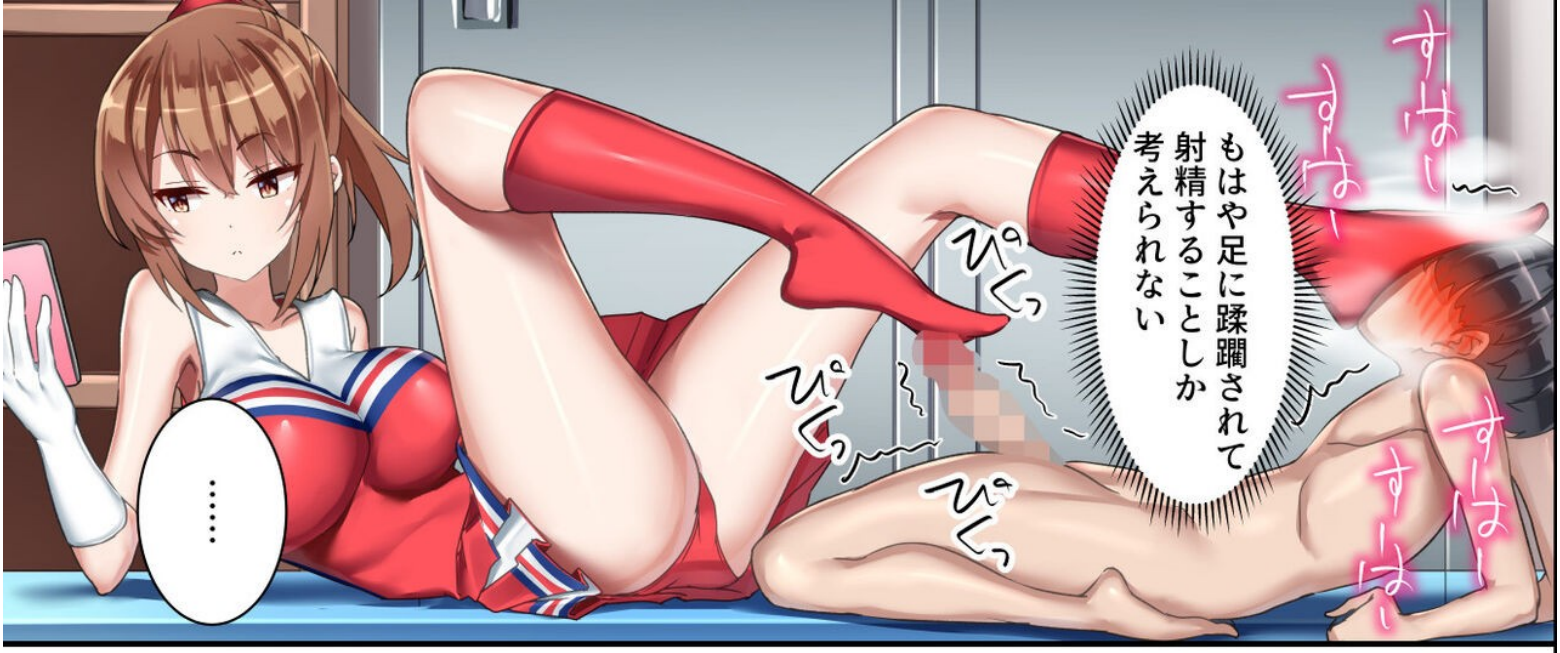
むがっ
もがっ
はぁ、それで抵抗してるつもり？
女に抑え込まれるとかみっともないねー
マジでキモイよ、お前
んんん〜〜!!

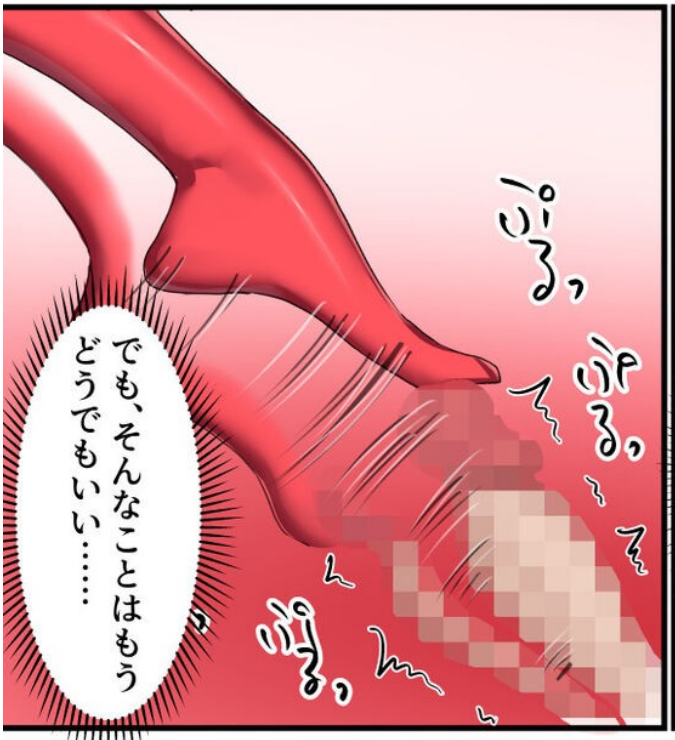
ブリュッ♥
ブリュッ♥
ビクッ
ビクッ
ガクッ
ぐぐぐ…
男の脳を犯す腋……
腋の匂いでイくっ……!!
ガクッ


俺の体や脳みそが日に日に
莉子の体に支配されていく……
射精させられるたびに
徐々に弱く、みすぼらしく
なっていく……
ビクッ
ピクッ
ビクッ
ヒク…
ヒク…
ピクッ

あぁっ！
きれいなあし！
足しゃぶりたいのぉ！
はぁ
はぁっ
はもっ
くにっ
完全に莉子のマゾ奴隷と
化した俺はひたすら調教を
おねだりし続けた……

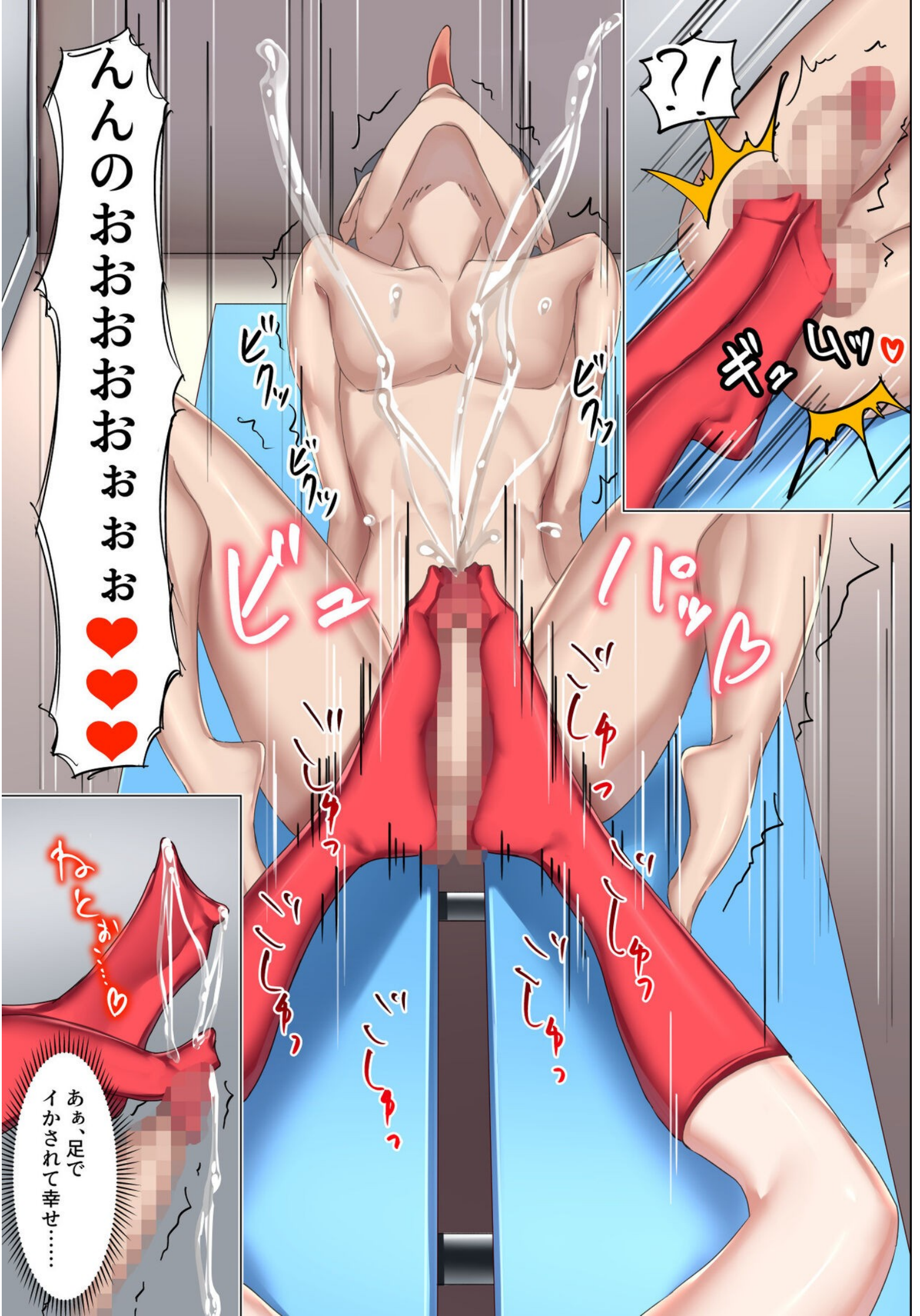

くんかっ
くんかっ
くんかっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
こっ
こっ
こっ
こっ
こっ
あぁ、莉子様の足……
足の匂いが全身を犯してゆく……
すーはー
すーはー
すーはー
すーはー

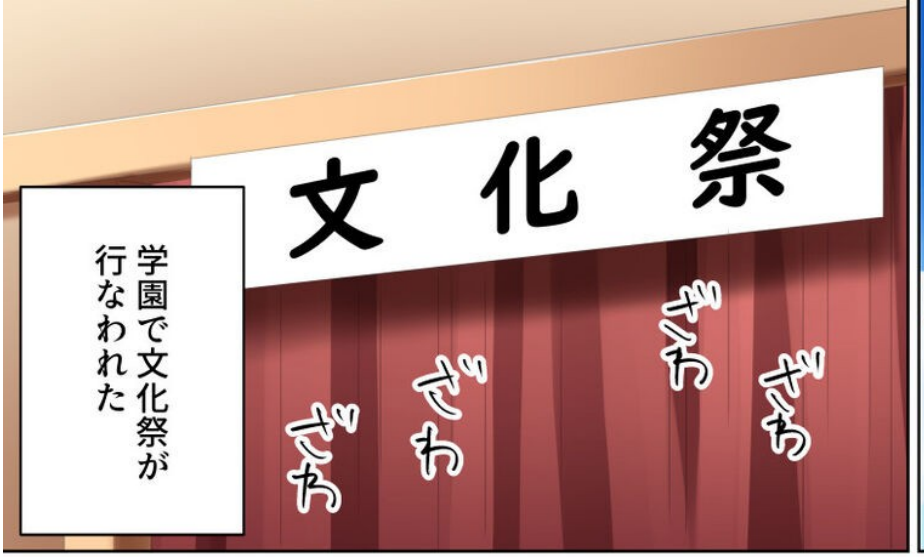

すはー
すはー
もはや足に蹂躙されて
射精することしか
考えられない
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
……
すはー
すはー


ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
でも、そんなことはもう
どうでもいい……

もわっ
すでに莉子に全く相手に
されていないことは
分かっている
ハッ
ハッ
ハッ
ぺろ
ぺろ
ぺろ

きっも
めんどくさいから
さっさとイけよオス猿
足とセックスさせてもらえる……
それだけで俺は満たされる……
あしい
足しゅき
くりくり


んんのおおおおおおお❤❤❤
?!
ギュッ♡
ビクッ
ビクッビクッ
ビュッ
パッ
ぢゅっぢゅっぢゅっぢゅっぢゅっぢゅっ
ねとぉ…♡
あぁ、足でイかされて幸せ……


文化祭
ざわ
ざわ
ざわ
学園で文化祭が
行なわれた

それから数日後……
ミーン
ミーン
ミーン

次の出し物は
私たちチアリーディング部による
チアダンスです！
この日のために精一杯
練習してきたので
是非ご覧ください！
ざわ
ざわ
ざわ
ざわ
ざわ
ざわ

それではさっそく
登場してもらいましょう！
拍手でお出迎えください！

度重なる調教により
莉子の言いなりに
なってしまった俺は……

でろ でろ
チアリーディング部のメンバーとして
チアダンスの出し物に参加させられていた
ハァ～レ
ハァ～レ
ハァ～レ
キャ～♡
ワ～♡
ワ～♡
カワイイ～レ
リコちゃ～ん♡

ねぇ、あの男子
勃起してない？
くすくす、
マジじゃん
ウケるｗｗ
ヒソ
ヒソ
ヒソ

うっわサイテーｗｗ
バリきもーｗｗ
くすくす。
くすくす。

イエ～イ♡
もじ
もじ
もじ
もじ
もじ
キャ～レ
リコ～♡
カワイイ～♡

女尊男卑のこの学園では
男子生徒が活躍できる
部活は存在しない……

学園における
この常識は今、

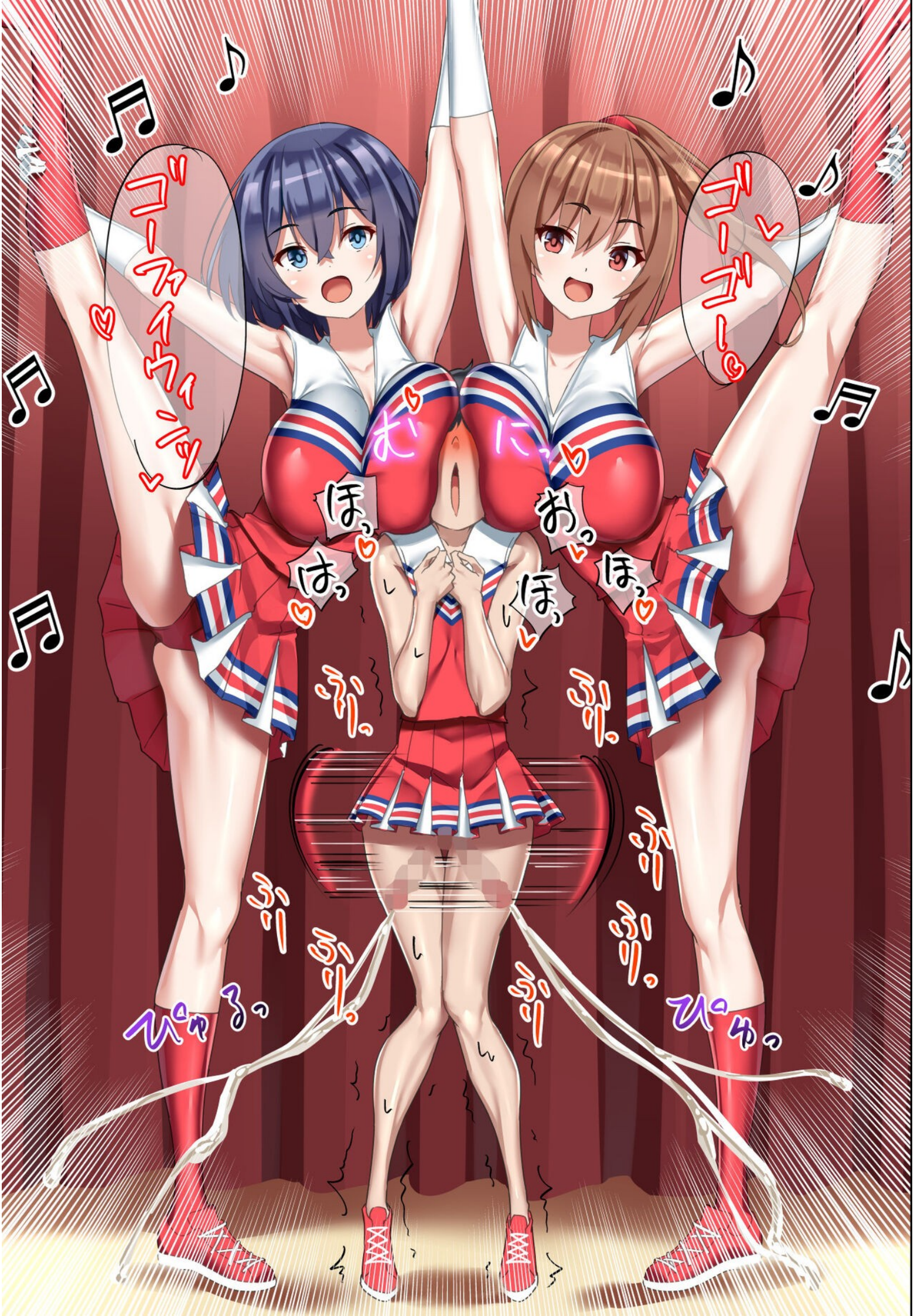
ついに覆され……

極めて歪んだ形ではあるが
活躍の場が与えられた俺は、

一心不乱にチアダンスを
踊っていた……

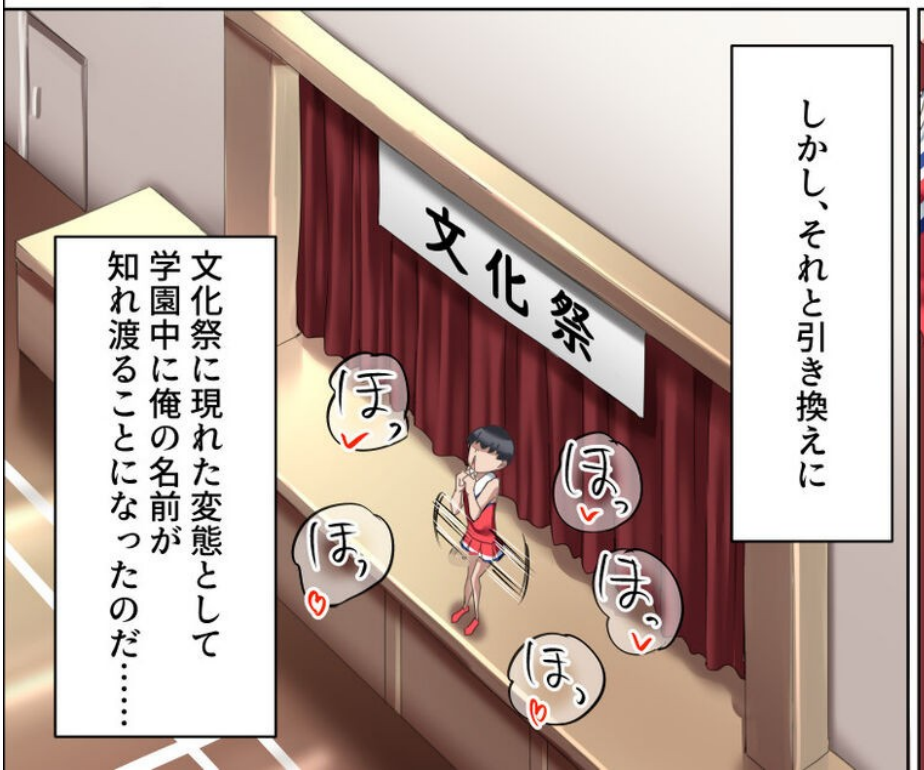
んぁ…
もわぁ…
ぐにっ…
おっ…
ギュッ
くんか、
くんか、
くんか、
くんか、
ゴーファイウィーッ
ゴーファイウィーッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぐにっ
おっ!!
おおっ!!
ぎゅ
むっ

すーはー
すーはー
すーはー
しこしこ
しこしこ
しこしこ
しこしこ
しこしこ
ゴーファイウィンッ♡
レッツゴーウィンッ♡
カクッ
カクッ
ガクッ
ガクッ


ゴーゴーゴー♡
ゴーファイトウィン♡
むにっ
ほっ
はっ
おっ
ほっ
ほっ
ぴゃっ
ぴゃっ

ありがとうございましたー!!
俺に対して浴びせられる罵声、嘲笑、悲鳴……
そのどれもが、俺にとっては最早興奮と快感を促すご褒美でしかなくなっていた
ほっ
はっ
おっ
ほっ
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
ギャ～～!!
ヘンタイだ～!!

莉子の命令に従い続けたことで盗撮の件は隠し通すことができた
ほっ
ほっ
ほっ
ぷるっ
ぷるっ


しかし、それと引き換えに
文化祭に現れた変態として学園中に俺の名前が知れ渡ることになったのだ……
文化祭
ほっ
ほっ
ほっ
ほっ
ほっ

この物語を読んでいる人がいたなら、
アリーディング部
やったね♪
大成功だね♪
どうかこのことだけは忘れないでほしい……
アーッ
キャーッ
クスクスッ

男とは、女に弱みを握られてしまうと散々弄ばれた挙句、
いとも簡単にドMに堕とされてしまう脆弱な存在なのだということを……
ピュルッ♡チュッ♡
おわり

後輩ドSチアリーダーにドM調教された男の話。

■サークル　くらげのすいそう
■著者　葉隠くらげ
■連絡先　【pixiv】https://www.pixiv.net/users/11514404
【X(旧twitter)】https://twitter.com/hagakure_kurage